



「ぶんせき」電子掲示板

油汚染事故のホームページ

1月2日に起きたタンカー・ナホトカ号の事故による重油流出は、流出した多量の重油が日本海沿岸各地に漂着し、その状況や回収作業の様子が連日報道されています。しかし、現地から離れた地域で報道される情報はどれも概ね似通っており、各地域での漂着状況や回収状況、環境への影響などの詳細はわかりません。従来ですと、これ以上の詳細な情報入手は難しかった。しかしながらネットワークの時代はこうした状況を一変させつつあります。例えば、関係する各県や省庁のホームページにアクセスしますとそれぞれが関連情報のページを開設しており、報道機関に提供された情報やそれに近いものが容易に入手可能となっています。後半の「インターネット情報」では、その一部を紹介します。

福井県立大学のホームページでは、この事故に関する基本的な疑問点への回答などとともに学生に積極的なボランティア活動への参加を呼びかけしており、インターネットでのボランティア情報の提供のためにMACが使えるボランティアを募集していました。阪神淡路大震災を契機に着実にボランティア活動が根付きつつあり、様々な形での参加が可能となってきたようです。

日本分析化学会のホームページの作成や運営も有志による協力により行われていますが、そろそろ体制の整備が必要でしょう。学会誌や学会関係のお知らせなどの情報を迅速に提供する一方で、分析に関するどのような情報をどのように提供して行けばよいのか検討を開始する必要があります。リンクサービスにしても内容を検討する必要があり、会誌編集委員会と同様に掲載内容の企画・情報の収集・編集などを担当する専門の委員会の設置が必要なのかも知れません。

「化学の広場」情報

本号で紹介する発言範囲

発言番号：170～220

期間：97/1/01～97/1/31

〔Q & A〕

ガスマスについて<関連発言番号>(115), 170

公定法の改良はどこまで<関連発言番号>171, 177, 183

DSCの自動運転について<関連発言番号>(151), 172, 174, 178, 188

[統計]F検定は片側or両側検定<関連発言番号>173, 193, 199, 212

芳香族アミン類の分析<関連発言番号>145, 175, 190, 191

超音波ネブライザーの保守の方法について<関連発言番号>157, 176, 179, 182

良いキャピラリーカラムをご紹介下さい<関連発言番号>181

セルの洗浄溶液は<関連発言番号>184, 194

環境庁告示13号について<関連発言番号>185, 195, 196

クロロホルムは使えなくなる<関連発言番号>186, 187, 189, 192

COD_{sd}の分析方法<関連発言番号>197

キャピラリーカラムについて<関連発言番号>198

呼び名を教えてください<関連発言番号>200, 201, 202, 209

原子吸光分析について<関連発言番号>203, 204, 210

JIS K010<関連発言番号>205

イオン交換樹脂のアルカリ処理について<関連発言番号>206

騒音の敷地境界線上の基準値<関連発言番号>213, 216

GCのサンプル注入方法<関連発言番号>(44), 214, 215

呈色について<関連発言番号>217

CNPの指針値<関連発言番号>218

rが0.5以下でも相関性ありか<関連発言番号>219

手についた硝酸銀の落とし方は？<関連発言番号>220

〔タイトルサービス〕

「水情報」、「環境と測定技術」

<関連発言番号>207, 211

〔本欄の今後の展開について〕

<関連発言番号>(126), 180

〔その他〕

1996年12月のアクティブリスト

<関連発言番号>1208

日本分析化学会ホームページのURL

<http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jsac/>

ナホトカ号油流出事故関連のホームページは、関連する各県や各省庁のホームページ内に掲載されています。それぞれが独自の情報を提供している他、相互にリンクははられていますので、どこか1カ所にアクセスすれば、後はリンクをたどって行くことができます。

「ぶんせき」誌、本欄そしてホームページ
へのご意見、ご要望やアイディアをお待ちして
おります。

ナホトホウの沈没状況

- ボランティア情報
- 観光・味覚情報
- 緊急特別自治会の創設
- 減込進捗率状況
- 市町村別対応状況
- 協賛県庁各部署の対応状況
- ロシアタンカー1隻進捗率超過率について

解は、国政の腐敗、民衆の苦しみ、多くの貧乏の苦痛を憐れ、一歩一歩前進していき、市民を自然豊饒に生活豊饒にするために、市民が一人一人として責任を負ってほしいと訴えておられます。

第2、憲法からいって市民を救済し、救済する技術は、1. 市民の生活（生活保護制度の創設）にのみ絞ってあります。2. 市民の権利は、政治的権利のみが保証は必ずしも一層ないために、憲法と市民の権利を離れておられます。

第3、市民の生活は、政治1. 市民が困窮するのを救済、保護することのみに絞られていると述べています。

- ロジアタッカー連続出事故発生に伴うお知らせ(福井市)
- 敦賀市ホームページ(敦賀市)
- きつカー連続出に伴う三方町からのお知らせ(三方町)

●二国の海が交わる! Cyber Radio (2) 緊迫しホー! (F45編)

- 釜山演出事故研究情報(福井県立大学)
- ナエトカ号油流出事故関係(電通庁)
- ナエトカ号海難・油流出事故対策関係情報(運輸省海上保安庁)
- 油田事故調査報告「油丸丸」に関する情報(運輸省第一海洋建設局)
- 新国産の熱気情報(新潟県)
- ロシアタンカー油流出事故情報(石川県)
- 釜山演出事故に関する宮山氏からの情報(宮山氏)